



第64期 中間報告書 (第2四半期)

2010.3.1 ▶ 2010.8.31

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード NO.8016



代表取締役会長
廣内 武



代表取締役社長
水野 健太郎

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご支援をいただき、感謝いたしますとともに、第64期第2四半期連結累計期間（2010年3月1日から2010年8月31日まで）の事業の概況等を、ここにご報告申し上げます。

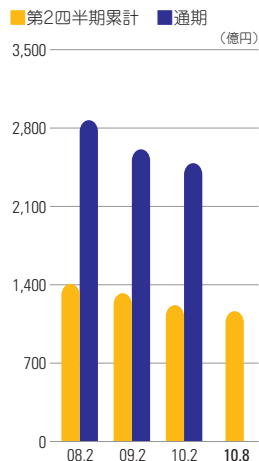
当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

また、当社グループは、ブランドを基軸とした経営による「ブランド価値の創造」をさらに推進し、消費者が価値を認める「価値価格」の実現をはかり、企業価値・株主価値の向上をめざしてまいります。

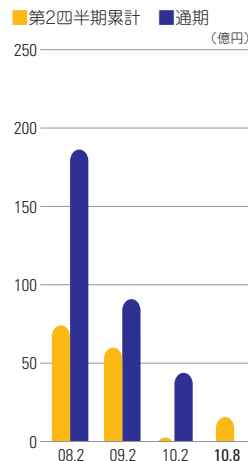
株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

財務ハイライト

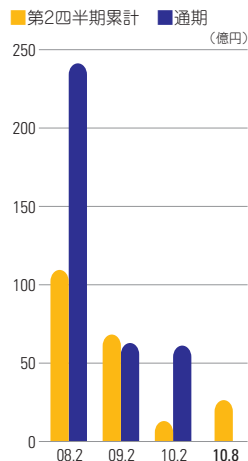
連結売上高



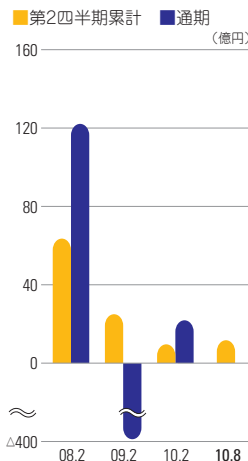
連結営業利益



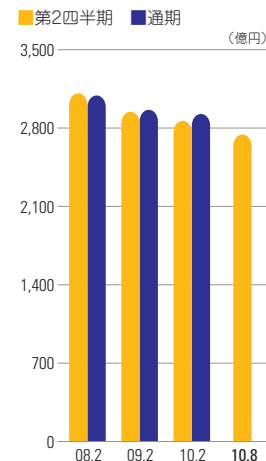
連結経常利益



連結四半期(当期)純利益



連結総資産



(百万円)

	2008.2	2009.2	2010.2	2010.8 (第2四半期累計)
連結売上高	287,032	261,005	248,634	116,417
連結営業利益	18,628	9,084	4,383	1,569
連結経常利益	24,128	6,285	6,120	2,641
連結四半期(当期)純利益(△純損失)	12,213	△30,895	2,187	1,169
連結総資産	309,092	296,282	292,568	274,178
連結純資産	197,639	158,418	158,164	153,409
連結1株当たり四半期(当期)純利益(△純損失)(円)	76.53	△197.21	13.97	7.46

事業環境と業績全般について

当第2四半期連結累計期間（2010年3月1日から2010年8月31日まで）におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果などにより緩やかな回復基調にあるものの、依然として雇用・所得環境は厳しく、欧州財政の信用不安、米国経済の回復懸念などによる急激な円高や株価低迷もあり、先行き不透明な状況が続きました。

当アパレル業界におきましても、消費者の節約意識は依然として高く、4月から5月の異常低気温や、8月の記録的な猛暑など天候不順の影響も加わり、消費マインドの低迷が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、国内事業



「23区」

では安定的な収益向上の実現のため、基幹ブランドを中心に積極的な事業施策を進めたことで確実に成果が上がってまいりました。一方、新たな成長戦略として、都市型商業施設やEビジネスに向けた事業も強化推進いたしました。また、海外事業では、欧州地区を中心に収益改善に取り組み、グローバル戦略による事業拡大に向けた基盤を整えました。

これらの施策により、中核会社である株式会社オンワード樫山においては、売上高は前年を下回ったものの、収益性が向上するとともに、国内外の各子会社においても計画通り収益改善が進みました。

第64期 第2四半期連結累計期間業績実績

売上高	1,164億 17百万円	(前年同期比 4.4%減)
営業利益	15億 69百万円	(前年同期比495.5%増)
経常利益	26億 41百万円	(前年同期比102.3%増)
四半期純利益	11億 69百万円	(前年同期比 21.7%増)

事業セグメント別の概況

■アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、消費者視点から、付加価値の創造をめざして「商品」「売場環境」「販売力」を磨き上げる基本方針を継続的に徹底したことで、基幹ブランドの売上高が前年を上回る状況となりました。収益性の高い基幹ブランドの回復に加え、ブランド軸によるメリハリの効いた効果的な運営により粗利益率の向上ならびに経費削減が図れ、売上高は前年を下回ったものの増益となりました。他の国内アパレル各子会社においては、オンワード商事株式会社の業績が、

企業ユニフォームの受注の落ち込みなどから減収減益になりましたが、株式会社アイランドの業績が順調に推移したこともあり、全体では増収増益となりました。

海外事業につきましては、欧州地区の各子会社は、為替の影響もあり減収となりましたが、経営基盤の強化など、事業運営が計画通り進んだことで収益が改善いたしました。また、アジア地区の各子会社は、事業拡大が順調に進み増収増益となりました。

■アパレル関連事業

売上高	1,089億 77百万円 (前年同期比 4.8%減)
営業利益	14億 83百万円 (前年同期は63百万円の営業利益)

■その他の事業

サービス関連事業につきましては、ファッション物流事業のアクロストラנסポート株式会社が、外部受託業務が減少したことで業績は前年を下回りましたが、商業施設



「ジョゼフ」ウエストポーン店



「ICB」伊勢丹梅龍鎮店

の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターは、内装設備の投資物件が回復基調となり売上高を伸ばすことができました。

リゾート関連事業につきましては、順調に推移し収益改善が図れました。

■その他の事業

売上高	110億 45百万円 (前年同期比 5.1%増)
営業利益	71百万円 (前年同期比 10.7%減)

通期の見通し

第64期(2011年2月期)連結業績予想

売上高	2,433億円 (前期比 2.1%減)
営業利益	66億円 (前期比 50.6%増)
経常利益	90億円 (前期比 47.1%増)
当期純利益	35億円 (前期比 60.0%増)

「オンワード・カラーミュージアム・キャンペーン」を開催



「オンワード・カラーミュージアム」
巨大洋服モザイクアート

株式会社オンワード樫山は、2010年5月に「オンワード・カラーミュージアム・キャンペーン」を開催いたしました。

主要14ブランドで、印象派絵画から抽出した100色以上のカラーを正確に再現した色彩豊かな衣服の展開を行い、順調に推移いたしました。

また、キャンペーンの開催を記念して「印象派の巨匠 ゴッホの自画像」の巨大洋服モザイクアートをポロシャツ2,070枚(24色)で製作し、ギネス世界記録™に認定されました。

秋冬シーズンは第2弾として、“色”にフォーカスした「エアージャケット」および「ストレッチダウン」のキャンペーンを行い、更なる売上拡大につなげてまいります。

“ブランドエクステンション” 「ジル・サンダー ネイビー」を発表

ジル・サンダー グループは、2010年4月に「ジル・サンダー」のブランドエクステンションとして、新ライン「ジル・サンダー ネイビー」を発表いたしました。

フレッシュでフェミニンな要素と新たなプライスレンジにより顧客ターゲットを拡げ、2011年春夏シーズンより、全世界同時スタートで展開いたします。

「ジル・サンダー ネイビー」は、今後のジル・サンダービジネスを発展させる上で重要な戦略的ステップと位置付けて、積極的な拡大を図ってまいります。



「ジル・サンダー ネイビー」



環境経営への取り組み

環境活動を経営施策のひとつに掲げ、
地球と人々の共生をめざしたチャレンジを続けております。

平城遷都1300年祭・平城宮跡のエントランス広場に 「オンワード・パビリオン」を出展

当社は、平城遷都1300年祭のメイン会場である平城宮跡のエントランス広場出展参加ホールにて、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の協力のもと、地球と世界の人々との共生をめざした環境・社会貢献活動等を展示する「オンワード・パビリオン（ONWARD PAVILION）」を

10月25日（月）から11月7日（日）まで出展いたしました。「オンワード・パビリオン」は、世界の難民や国内避難民の保護と難民問題の解決へ向けた国際的な活動を行っている国連機関、UNHCRの協力による特別企画ゾーンとポロシャツのチャリティー販売や今秋冬のファッショントレンドを紹介・販売するファッションゾーンで構成いたしました。

会期中の累計来場者は約8万名に達し、今春実施した「オンワード・カラーミュージアム・キャンペーン」でゴッホのモザイクアートとして使用したポロシャツのチャリティー販売会での売り上げは、当社グループのCSR活動に役立ててまいります。



「オンワード・パビリオン」

連結財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

	前期末 2010年2月28日現在	当第2四半期末 2010年8月31日現在
資産の部		
流動資産	100,680	85,381
現金及び預金	34,330	24,082
受取手形及び売掛金	25,730	22,343
商品及び製品	27,179	25,056
仕掛品	1,165	1,235
原材料及び貯蔵品	2,549	3,618
その他	10,587	9,691
貸倒引当金	△862	△645
固定資産	191,888	188,797
有形固定資産	89,741	88,203
建物及び構築物	28,295	27,005
土地	53,331	53,230
その他	8,115	7,968
無形固定資産	50,811	48,927
のれん	47,417	45,515
その他	3,393	3,411
投資その他の資産	51,335	51,666
投資有価証券	31,193	31,406
その他	23,382	22,997
貸倒引当金	△3,240	△2,737
資産合計	292,568	274,178

(百万円)

	前期末 2010年2月28日現在	当第2四半期末 2010年8月31日現在
負債の部		
流動負債	90,929	78,695
支払手形及び買掛金	35,961	31,271
短期借入金	35,698	31,667
未払法人税等	4,085	1,866
賞与引当金	1,568	1,844
役員賞与引当金	262	122
返品調整引当金	545	445
ポイント引当金	125	143
その他	12,681	11,336
固定負債	43,475	42,073
長期借入金	24,053	24,090
退職給付引当金	3,273	3,325
役員退職金引当金	122	123
その他	16,025	14,533
負債合計	134,404	120,768
純資産の部		
株主資本	175,450	172,878
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	118,816	116,217
自己株式	△23,489	△23,461
評価・換算差額等	△18,949	△21,039
その他有価証券評価差額金	△5,559	△7,419
繰延ヘッジ損益	△42	△103
土地再評価差額金	△10,992	△10,992
為替換算調整勘定	△2,354	△2,524
新株予約権	412	467
少数株主持分	1,251	1,104
純資産合計	158,164	153,409
負債及び純資産合計	292,568	274,178

連結損益計算書

(百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間
	2009年3月 1日から 2009年8月31日まで	2010年3月 1日から 2010年8月31日まで
売上高	121,821	116,417
売上原価	66,569	61,909
売上総利益	55,252	54,508
販売費及び一般管理費	54,988	52,938
営業利益	263	1,569
営業外収益	2,428	2,513
営業外費用	1,386	1,441
経常利益	1,305	2,641
特別利益	2,066	662
特別損失	446	202
税金等調整前四半期純利益	2,925	3,102
法人税等	1,992	1,933
少数株主損失	△27	△0
四半期純利益	960	1,169

会社の概要 (2010年8月31日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粹持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	34名
所在地	東京都中央区日本橋3丁目10番5号
主要関係会社	株式会社オンワード樺山 オンワード商事株式会社 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社アイランド* バスストップ株式会社 アクロストランスポート株式会社 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社ブックレット 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー ジョゼフLTD. シボ・コーS.P.A. シルサンダーイタリアS.P.A. フリードオブロンドンLTD. オンワードピーチリゾートグアムINC. J. プレスINC. 恩瓦徳時尚貿易 (中国) 有限公司

取締役および監査役 (2010年8月31日現在)

代表取締役会長	廣内 武
代表取締役社長	水野健太郎
代表取締役副社長	馬場和哉
常務取締役	吉沢正明
常務取締役	田中 実
取締役	本庄八郎
取締役	中村嘉秀
常勤監査役	山本昭登
常勤監査役	青山 仁
監査役	矢部丈太郎
監査役	大橋一章

- (注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
2. 監査役 矢部丈太郎、大橋一章の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

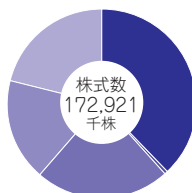
株式の状況(2010年8月31日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	172,921,669株
株主数	10,155名

(注)発行済株式の総数には、自己株式16,246千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

金融機関	65,747千株	38.0%	
証券会社	899	0.5	
その他の法人	39,897	23.1	
外国法人等	30,297	17.5	
個人・その他	36,081	20.9	



(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。

大株主(上位10社)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,833千株	6.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,461	6.0
財団法人樫山奨学財団	8,710	5.5
日本生命保険相互会社	6,227	3.9
株式会社伊勢丹	5,001	3.1
第一生命保険株式会社	4,200	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,560	2.2
株式会社丸井グループ	3,417	2.1
株式会社三井住友銀行	2,931	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,619	1.6

(注) 1. 当社は自己株式16,246千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

2. 持株比率は、自己株式16,246千株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	上場証券取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所 市場第1部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年5月中	公告掲載URL	http://www.onward-hd.co.jp/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		



当冊子についてのお問い合わせ先

株式会社 オンワードホールディングス

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-3272-2312



適切に管理された森林からの原料を含むFSC™認証紙と
植物油インキで印刷しています。